

シュタムティッシュ

管楽器とピアノによる室内楽の夕べ Vol.21

StammTisch



白尾 隆
(フルート)
Takashi Shirao



篠崎 隆
(オーボエ/イングリッシュホルン)
Takashi Shinozaki



松尾 賢一郎
(クラリネット)
Kenichiro Matsuo



大和田 浩明
(ホルン)
Hiroaki Owada



五島 研一
(ファゴット)
Kenichi Goshima



大島 史子
(ピアノ)
Fumiko Oshima

2021年7月1日(木)

昼の部 14:30開演 (14:00開場)

夜の部 18:30開演 (18:00開場)

ルーテル市ヶ谷センター

全自由席 一般 3,000円 学生 2,500円

お問合せ TEL/FAX 045-842-4764(五島)
E-mail/matsuo-wklkm@celery.ocn.ne.jp(松尾)
ホームページ <http://trioStammTisch.strikingly.com/>

チケット取り扱い

ノナカ・ダブルリードギャラリー TEL. 03-5458-1541
YAMAHA銀座店・管楽器売場 TEL. 03-3572-3134
JDR(日本ダブルリード) TEL. 03-3346-1761
ドルチェ楽器・木管サロン TEL. 03-5909-1771

Programm

モーツァルト: アダージョとアレグロ K.594
W. A. Mozart : Adagio & Allegro K.594

プーランク: ソナタ
F. Poulenc : Sonata for flute and piano

パスクッリ: オペラ「仮面舞踏会」の
2つのモチーフによる幻想曲
A. Pasculli : Fantasia due sopra motivi dell
'opera „Un ballo in maschera” di Verdi for English Horn and Piano

クレプシュ: オペラ「魔弾の射手」による幻想曲
F. Kröpsch : Fantasie aus der Oper "Der Freischütz"
von C.M.v.Weber für Klarinette und Klavier

ベルワルド: 演奏会用小品 Op.2
F. A. Berwald : Concert Piece Op.2 for Bassoon and Piano

エネスコ: ルーマニア狂詩曲第1番より
G. Enesco : Rumanian Rhapsody No.1
(arranged by Hiroaki Charlie Owada)

【新型コロナウイルス感染症拡大防止策へのご協力をお願いいたします】

- 客席数を制限しての開催となります。
- 会場内では原則、マスクのご着用をお願いいたします。
- ご入場時の消毒、検温、ご連絡先の確認にご協力をお願い申し上げます。
- 出演者への贈り物やお花束等はご辞退申し上げます。
- 終演後のご挨拶も控させていただきます。

白尾 隆

(フルート)
Takashi Shirao

桐朋学園大学を経て、ドイツ・フライブルク国立音楽大学に留学。78年「特別優秀賞」を得て卒業後、スイス・チューリッヒ音楽院にて研鑽を積む。林リリ子、森正、オーレル・ニコレ、アンドレ・ジョネの各氏に師事。80年よりオーストリー「インスブルック交響楽団」首席フルート奏者を勤める。86年帰国後、「サイトウ・キネン・オーケストラ」国内外の公演に参加、「ドイツ・パッサ・ソリスト」 「安田弦楽四重奏団」等と共演を重ねる。現在、ソロ、室内楽を中心とした演奏活動のかたわら、後進の指導にあたる。桐朋学園芸術短期大学、武蔵野音楽大学各非常勤講師。

篠崎 隆

(オーボエ/
イングリッシュホルン)
Takashi Shinozaki

東京藝術大学大学院修了。文化庁在外研修員としてベルリンおよびチューリッヒに留学。この間ベルリン及びスイスビール歌劇場を中心に各地にてオーケストラ、室内楽等数多くの演奏活動を行う。オーボエ・イングリッシュホルンをH.シェレンベルガー、P.フックスの両氏に、室内楽をF.リム女史に師事。その後(公財)東京交響楽団で長年ソロイングリッシュホルン奏者を務め、数多くの重要なソロを演奏。現在、オーケストラや室内楽等、意欲的に活動している。特にイングリッシュホルンに関する楽曲の発掘、発表に力を注いでいる。洗足学園音楽大学、大学院講師。

松尾 賢一郎

(クラリネット)
Kenichiro Matsuo

桐朋学園大学卒業後、アルフレート・プリンツ教授の最後の弟子としてウィーン国立音楽大学で学ぶ。1997年に帰国後5年NHK交響楽団に客演の他、ソロ、室内楽、オーケストラ奏者として活躍。又、2010年のオペラシティでのリサイタルは好評を博した。現在、東邦音楽大学・大学院講師として後進の指導にもあたる。松本久雄、北爪利世、エルンスト・オッテンザマーの各氏に師事の他、カール・ライスター、ハンス・ダイントツァ、アロイス・ブランドホーファーのマスターコースを受講。

大和田 浩明

(ホルン)
Hiroaki Owada

武蔵野音楽大学卒業後、1982年よりドイツ、フランクフルト音楽大学に留学。1985年同大学を卒業。その間、フランクフルト放送管弦楽団、WDR(ケルン放送)の古楽器アンサンブルCapella Coloniensis等に出演。1984年よりドイツ、南東バイエルン市立歌劇場オーケストラに入団。1986年より東京交響楽団に移籍。33年にわたり同楽団ホルン奏者として活躍の後、現在はパーソナル・マネージャーを務める。これまでに、黒澤勝義、田中正大、G.Neudecker、E.Terwilliger教授に師事。

五島 研一

(ファゴット)
Kenichi Goshima

武蔵野音楽大学を卒業後、ベルリン・オーケストラ・アカデミー(カラヤン財団)にて奨学生として学ぶ。在学中、実習として約30回ベルリン・フィルの演奏会に出演。84年より86年までホーフ市交響楽団(旧西ドイツ)に首席ファゴット奏者として在籍。帰国後、92年まで新日本フィルハーモニー交響楽団ファゴット奏者を務める。91年にはモーツァルトのファゴット協奏曲(抜粋)を協演。ファゴットを山畑馨、マンフレート・ブラウン、室内楽をホルスト・ゲーベルの各氏に師事。これまでに、1番奏者のエキストラとして東京フィル、神奈川フィル、群馬交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢等の演奏会に参加。現在、オーケストラ演奏を含め、室内楽、録音を中心に活動。

大島 史子

(ピアノ)
Fumiko Oshima

桐朋学園大学卒業。その後、ウィーン国立音楽大学に学び、修士課程を修了しマギスター学位を得る。第9回ベートーヴェン国際コンクールにてディプロム賞を受賞。ピアノを野原百合子、黒岩直子、林秀光、ノエル・フローレスの各氏に、チェンバロを岡田龍之介氏に師事。また、黒岩英臣氏、高橋康人氏の指導も受ける。元N響首席クラリネット奏者磯部周平氏のCD「エレジー」その他で伴奏を務め、また日本木管コンクールで公式伴奏を務めるなど、現在、室内楽、伴奏、ソロ、オーケストラ等で活動している。

